

竹松の風



大村市立竹松小学校 学校だより
令和8年度第1号 (R8. 4. 7)
文責：校長 牛嶋 理孝

令和8年度のスタート 進級おめでとうございます



桜の花が舞い、地に色鮮やかな草花が顔をそろえた中で、新しい学年がスタートしました。保護者の皆様、お子様の進級おめでとうございます。

本日の朝、児童玄関の前は、いつもより早く登校した子供たちで大変混雑していました。開錠とともにのぞき込む学級名簿。「うわー！」「やったー！」といった誰と同じ学級なのか…。昔も今も変わらない大イベントです。大声ではしゃぐ子供たちの姿を見つめながら「この笑顔がさらに輝くよう頑張ろう」そんな思いを強くしたところです。

今年度も、どうぞよろしくお願いします。

令和8年度学校経営方針

学校教育目標

「やさしく かしく たくましい 竹松っ子の育成」

目指す児童像

- 明るく思いやりがある子供 【徳】
- 進んで学びよく考える子供 【知】
- 健康でねばり強い子供 【体】

目指す学校像

- 明るく活気に満ちた学びの香りのする学校
- 美しく整えられ、落ち着きのある学校
- 秩序、ルール、マナーを大切にす学校
- 保護者、地域とつながる学校

目指す教師像

- 明るく元気な教師
- 児童に寄り添う教師
- 絶えず研究と修養に努める教師
- 保護者、地域と手を取り合い、心を重ねる教師



何かありましたら 遠慮なく御相談ください

わたしは教育現場で働いて35年目となりました。しかしながら、どれだけ経験を積んでも「こうすれば、必ずうまくいく」という方程式は、見付けることができません。前の学校ではうまくいったことが、次の学校では通用しない。そんなことが、よくあります。

また、わたしには3人の子供がいます。同じように育てたつもりですが、3人それぞれ全く違います。上の子供ではうまくいったことが、下の子供では通用しない。そんなことばかりです。

こうした自分自身の経験から、学校教育や家庭での子育てについては、「こうすれば必ずうまくいく」という方程式は存在しないと考えています。ですから、学校の教育活動について、時に保護者の方が疑問に思ったり、納得できないことが出てきたりするのは当然だと思います。そんなときには、どうぞ遠慮なく、学校に御相談ください。直接顔を合わせて話し合うことで、

「なんだ、そういうことだったんですね」

「子供の話だけを聞いて誤解していました」

そのように納得していただくことがほとんどです。

保護者の方も、我々教師も、最終的な目的は子供の幸せであり、自立です。最終的な目的が同じであれば、話し合うことで、必ず分かり合えると信じています。

子供たちが笑顔で登校し、笑顔で下校していく。そんな学校を実現するため、学校と家庭、さらには、地域がしっかりと手を取り合い、力を合わせて、子供たちの健やかな成長を支えていければと思います。どうぞよろしくお願いします。

tetoruへの登録をお願いします



3月24日付の文書でお知らせしていましたがおり、連絡アプリ「tetoru」に再登録していただく必要が生じました。学校側の不手際により、お手数をおかけしてしまい申し訳ございません。

大変恐縮ですが、確実な連絡体制構築のため、未登録の御家庭は至急登録をお願いいたします。